

国際化時代に対応できる英語力の定着を目指して、小学校教育に英語学習を時間割に位置づけて指導する計画を立てています。

現在、播磨町の小学校では、独自の町費負担教職員（教科専門指導教諭）を採用し、算数を中心にクラス人数を分割し、少人数の集団での指導をしています。これは、すべての子どもたちに「確かな学力」を定着することを目指した取り組みです。来年度は今年度の反省をもとにより充実した指導にしていきたいです。

3. 就学前教育の充実

子どもたちが、小学校に入学するまでに身につけておかなければならない態度や力をはっきりさせ、家庭や地域、幼児教育や保育に係る機関などで徹底指導していくように、幼一貫教育推進委員会で検討しました。また、播磨西小学校と播磨西幼稚園で実践研究を進めました。来年度から実践研究の枠を広げていきます。

4. 安全・安心の確保

「ひやり、はっとマップ」を作成し、家庭・学校・地域が連携して、目標達成に向かう取り組みを進めています。

5. 生涯学習の充実と人権教育の充実

播磨町教育審議会答申に基づき、生涯学習と人権学習のすべての取り組みを見直し、新たな取り組みの企画を始めています。

以上、本年度の取り組み状況の概略をご報告いたしました。播磨町の教育は、播磨町のみんなの手で」という考えのもと、今後ともよろしくご協力をお願いいたします。



播磨町に最適な教育の実現に向かう

教育長 大辻 裕彦

現在、文部科学省では、“教育の地方化”が急テンポで進められています。文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会（以下「中教審」という）が、平成17年10月26日に、教育の地方化の根幹となる“答申”を示しました。そこには、義務教育の構造改革は、国の責任でナショナル・スタンダードを確保し、その上に、町と学校の主体性と創意工夫により、それぞれの地域において最適の状態（ローカル・オプティマム）を実現することが必要である、と述べています。播磨町では、その実現に向かって、中教審の中間答申をもとに平成17年3月に“播磨町教育審議会答申”をいただきました。これには、生涯学習の面についても具体的な方向が示されています。

では、播磨町において平成17年度に計画したものや実行に移し始めている主なものを紹介いたします。

1. 学校規模の適正化

中教審答申の中に「教育活動の充実のためには、子どもたちが過ごす学校の規模が適正であることも必要と考えられる」と示されています。播磨町では、播磨北小学校の廃止を決定し、町内の小学校の規模を適正化しようとしています。

2. 義務教育の教育水準向上に向かう取り組み

すべての学習の基礎と日常生活の基盤となる国語力を養い、豊かな感性を育むために読書活動の活性化を図る教育環境を整備しています。

播磨南中学校

豊かな心を持ち 自ら学び続ける 意欲と力を持つ生徒の育成



本年度の主な取り組み

- ① 基礎・基本の定着
指導や評価の方法を見直し、基礎・基本を身につけさせると同時に、「生きる力」の育成を図る取り組みを推進してきました。また、英語科においては新学習システムを導入して、全年少人数指導を実施し、「確かな学力」を育成してきました。
- ② 自己実現と共生への支援
部活動や各行事に積極的に取り組み、夢（目標）に向かって地道な努力を積み重ね、仲間と共に活動する大切さや喜びを味わいました。そして、大会や行事当日に、練習や努力の成果を遺憾なく発揮することができました。
- ③ 国際理解教育の推進
子ども多文化共生フロンティア推進校として、国際理解教育に取り組み、多文化理解に努めました。11月には、多文化共生フェスティバルを開催し、中国雲南省出身の高茜先生を講師に招き、絵画や文字を通して中国文化を知ること、日本文化にも気付ききっかけができました。
- ④ 地域や家庭からの支援
トライやる・ウィークや廃品回収、綱引きなど、地域や保護者の方々のお世話になり、共に活動することを通して、ふだん学校ではできない貴重な体験をし、数多くのことを学ぶことができました。

来年度も、生徒たちの健全育成と自己実現への支援に取り組みます。ご支援、ご協力をお願いいたします。
※生徒会スローガン「南中！日本最高宣言」

播磨小学校

主体的かつ創造的に生きる力を育む教育の推進

〈確かな学力を育成するために〉

- 「BOS (Base Of Study) タイム」で読み・書き・計算などの基礎学力の定着を図ってきました。また、全校音読の取り組みも始めました。
- 少人数授業の工夫、授業方法の改善などにより、わかる喜びを体得させる授業の創造に努めました。
- 〈豊かな心を育むために〉
- 感動的な本との出会いを大切に読書タイムや図書の日を充実し、読書の習慣化を図りました。
- 音楽会や美術展などを通して心豊かに表現する喜びを体得させました。
- 手話歌を中心とした親子講演会や地域の外国人の方々との交流を通して共生への意欲を高めました。
- 命や体を大切にすることを育む勤労生産学習やCAP体験学習などを推進しました。
- アルミ缶回収や募金活動「ワーク活動」、全校縦割り集団による「はりまっ子活動」などの主体的かつ創造的な児童の活動を支援し、よりよい学校生活を目標とする意欲を高めました。

〈健康な体を育てるために〉

健康な体をつくるために基本的な生活習慣を定着させるとともに、駆け足記録会・なわとび大会などのチャレンジ体験を通して体力づくりを進めてきました。



本年度も「播磨っ子デイ」をはじめ、様々な学習活動や子どもたちの安全確保のために、多くの地域の皆さまに大変お世話になりました。来年度も引き続き温かご支援をよろしくお願い申し上げます。
<http://www.harisyouth.harimakyoiku.jp/>

播磨西小学校

『生きる力』を育む 活力ある学校づくりの推進

本年度の主な取り組み

- ① 基礎基本事項の確実な定着を図る個に応じた学習の充実
- ・少人数指導や複数指導・個別指導を行う中で、個に応じた学習を推進しています。
- ・教師の指導力を高めるため、授業研究交流を積極的に推進しています。
- ② 豊かな心の育成
- ・発達段階に応じた体験、調査活動を取り入れた自主的・自発的な学習を行っています。
- ・毎日、朝の時間に歌唱・音読を行い、情操を深める学習に取り組んでいます。
- ③ 特別活動の創意工夫
- ・子どもたちの意欲を尊重した児童会活動（文化祭・株式会社）を推進しています。
- ④ 幼児教育から小学校教育への円滑な移行
- ・園児・児童の交流活動はもとより、「できること」から始めよう」を合い言葉に、機会をとらえ、試行的な取り組みを進めました。（例）研修会の開催、行事参加、施設の共有化など）



子どもたちの健康な成長を目指し、家庭・地域との連携を深める中で、より充実した教育活動を推進していきたく考えています。

播磨西幼稚園

豊かな心と たくましく生きる力の基礎を育む

本園では、幼児が基本的な生活習慣や主体的な生活態度を身につけ、人とかかわる力や道徳性の芽生えなど人として生きていくための基礎を育むために、幼児一人ひとりの成長や発達を大切に考えて取り組んできました。

本年度の主な取り組み

- 基本的な生活習慣の確立
- ・家庭との連携を密にしておくことで、食事や睡眠、排泄など、健康な生活ができるようになってきました。
- ・元気に登園し、自分からあいさつができるようになってきました。
- 家庭や地域との連携の推進
- ・幼児期の大切さや家庭教育の重要性など、親として育つ場や機会をもっています。
- ・老人クラブや地域の人たちとのふれあいの中で、親しみを感じたり、人に対する温かい気持ちに触れたりしています。
- 幼稚園教育および小学校教育についての相互理解
- ・「できることから始めよう」を合い言葉に、幼児と児童との日常生活の中での交流を重ねていくことで顔見知りが増え小学生に対し、より親しみをもってかわらうとする姿がみられるようになってきています。



今後、保護者や地域の皆さまとの連携を大切にする中で、幼児一人ひとりの心身に健康な成長をめざし、さらに充実した教育を目指し、努力していきたく思います。
<http://www.nisyoutien.harimakyoiku.jp/>

小学校生活最後の参観日

播磨小学校



▲お母さんも一緒にドッジボール

6年生は、小学校生活最後の参観日に学年合同親子スポーツ大会を実施しました。思い出のいっぱいあったグラウンドで長縄跳びやスプリンレース、ドッジボールなどを親子で楽しみました。

子どもたちの川柳より

お母さん 見に来てくれて

親も子も 外で元気に 参観日 お母さん 縄を回して 肩が張る 参観日 みんな笑顔で がんばった 参観日 たまにできる 親孝行

小学校生活最後の参観日に親子で楽しい思い出を作りました。

1・17は、忘れない…町合同防災訓練

播磨南小学校



▲次の指示が出るまで待機

「ウー」というサイレンを合図に地震を想定した町合同防災訓練が始まりました。避難経路確認後、運動場に速やかに避難し、人員確認しました。負傷者あり・屋上に逃げ遅れた人がいるとの報告により、救急車、はしご車の出動を要請しました。救急隊員が負傷者を搬送し、消防隊員が屋上の教師2人をはしご車で無事救出しました。

その後、非常食クラッカーの試食が行われました。「思っていたよりおいしい」「もっと食べたい」との声が多くありました。最後に保護者への児童引き渡し訓練を行い、無事に全訓練活動を終了しました。

大震災が2度と起こらないことを願いつつも、常に備えることの大切さを確認した1月17日となりました。

親子で挑戦!!百人一首・フォークダンス

蓮池小学校



▲ちょっと恥ずかしい

1月19日(木)、6年生の学年行事が行われました。学年行事はPTAの役員の方が主となって企画されました。前回の学年行事では、親子で性教育について学びました。

第2回学年行事では、親子で百人一首大会とフォークダンスに挑戦しました。

百人一首が始まると、子どもたちよりも気合の入るお母さんたち。同時に札に手がかかると、真剣な表情でジャンケンをするお母さん方の姿が印象的でした。

後半のフォークダンスには、子どもたちも恥ずかしいやらうれしいやら複雑な心境だったようです。保護者の方は、学生時代を懐かしみながら、また、我が子と出会う番を心待ちにしながら踊っていました。3月の卒業を前に、小学校生活の楽しい思い出を、親子で残すことができました。

「野菜を通して 楽しい交流の場が…」

播磨北小学校



▲いらっしゃいませー

北小の学習園では、各学年が色々な野菜を育てています。2年生は、キュウリ・ミニトマト・サツマイモ・ラディッシュ・大根・水菜などを作りました。

夏、自分の育てたキュウリの丸かじり。パリッ! の音と、生の味のおいしさは格別でした。秋にはサツマイモを使って、芋けんぴやふかし芋を作り、お家の人に食べてもらったり、野菜市場を開いて、お母さんたちに買ってもらうたりもしました。そして冬、地域のおじいさん・おばあさんと恒例の漬物作りです。おいしい漬け物が出来上がるのを楽しみに待っている2年生です。野菜を通して、多くの方と楽しい交流ができました。

実りの多かったスキー教室

播磨中学校



▲夕食の時間も楽しみのひとつ



2年生がゆうびん屋さんになって西小ゆうびん局を開きました。子どもたちの手作りした大きなポストが2つ廊下に置かれ、いよいよ始まりです。ポストは、みんなが出したはがきでいっぱいです。赤いカバンを持っていって集めます。次は、ゆうびん局のはんこ押し。日付もちゃんと書きました。そして配達。まちがえないように配ります。毎回、数百枚のはがきが入っていてゆうびんさんは大忙し。「ゆうびん屋さんでつかれるなー」は、子どもたちの声。でも、友達や先生からたくさんのはがきをもらって大喜びでした。

ゆうびん屋さんになって大活躍

播磨西小学校



▲ゆうびんですよー

また宿舎では、普段の生活では気付かなかつた友達の優しさや意外な一面を知り、さらに友情を深めたスキー教室でした。この成果を、今後の生活にしっかりと結びつけてくれることを期待しています。

PTCA活動支援事業地域フォーラム

播磨南高校



▲小菅園長の講演

1月7日(土)に、播磨町中央公民館にて北海道・旭山動物園園長の小菅正夫氏の講演が行われました。寒い中、多くの方々が小菅園長の話を聞きに足を運びました。参加者は小菅園長の話に耳を傾け、熱心に聞き入っていました。講演の内容は、小菅園長自身の学生時代のお話や旭山動物園に就職するまでの経緯のほか、旭山動物園内にいる動物にまつわる話などをされました。小菅園長の話を聞いて、生命の神秘に心打たれると同時に、生命の凄さを再確認しました。僕は、ぜひもっとたくさんの方々の方に小菅園長の話を聞いて、感動してもらいたいと思います。

実体験で学ぶスキー教室

播磨南中学校



▲リフトで上まで行ってきまーす

1月23日(月)から3日間、1・2年合同のスキー教室を実施しました。12月からの大雪で、積雪が1メートルを超え、雪国の厳しさに触れました。また民宿の方々の温かいおもてなしに感動していました。特に夕食の鍋・かに鍋は、大喜びでした。何度もご飯をお代わりしたり、より食欲旺盛でした。1年生は、ほとんどの生徒が初心者なので、クラス別男女別の班で実習しました。靴やスキーのはき方から始め、歩いたり、ボーゲンで滑ったり、止まる練習をしたりして、とにかくリフトに乗り、何とか滑り降りられるようになりました。2年生は、技能別の班を作り、力に合った実習を行いました。2年続けての行事ですがその満足度は、スキーの上達、ふりて十分伝わってきました。

平成17年度の我が家は、子どもがしている軟式野球の会長に始まり、古田東子ども会、隣保長、娘の高校のPTA役員、この4つの役が一気に押し寄せ、振り返れば、ためらう余裕もなく次々に迫り来る役割をこなすので精一杯の日々。古田東に住むようになって早4年。こんなにもこの町、古田東に柔軟に慣れ親しむ自分に驚きつつも、いろいろな人との出会いに日々、笑顔の自分がありました。大変ながらも楽しんでる自分に気づいたのです。

何よりも僕の転機はなんと言っても古田東消防団入団。この消防団も子どもの軟式野球のお父さんと意気投合したのが縁で、誘ってもらい入団。ここで

も「一生の友」と呼べる人たちの出会いが僕を待ち受けていました。年末、仕事で忙しくても消防団となると疲れもフツ飛び、参加する毎日。なんと楽しい毎日であろうか。まだ消防団に入団していない皆さん！一度、参加してみてください。きっと入団したくなりますよ。今年3月、ほとんどの役割が終わろうとしています。本当に良い経験をさせてもらいました。これからも、この播磨町に、古田東に僕自身の残していける足跡を一つでも多く作れたらなと思っています。そして、何よりも、今まで僕を支えてくれた妻や子どもたち、家族に心から感謝したい。妻、尚ちゃん、いつも笑顔をあ

僕の宝物

あなたに

バトンタッチ

リレーエッセー⑨



小林 伸二さん (古田東)

自己PR 現在47歳。まだまだ元気！ 人生走り続けるぞー!!

保健だより

疲れた足のマッサージのほむほむ。

健康安全グループ 保健師 前川 啓子

皆さん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。これから少しずつ暖かくなり、過ごしやすくなりますね。今回は、「第2の心臓」といわれる足のお話です。皆さんはご自分の足や爪をじっくり見られたことがありますか？ 爪の長さだけでなく、皮膚が固くなっていたり、指の関節が曲がっていたりしませんか？

その大切な足ですが、トラブルを抱えている方が多いようです。毎日動かしている足ですから、「お疲れさま」の気持ちを含めて、マッサージしていかげしょう。足の筋肉や関節を柔らかくしておけば、足の血行がよくなり、トラブルを起こしにくくなります。特に、お風呂あがりや足浴(足湯)をしたときなど、足が温まっているときにおススメです。春を探しに出掛けるためにも、足や爪にも目を向け、しっかり労わってあげましょう。

【疲れた足に、足のマッサージ】

- ①座って、足首をゆっくりと回します。
②かかとを手の平でぐるぐるマッサージして、血液の循環をよくします。
③足の裏、指を曲げたときにできるしわの真ん中に、「湧泉」というつぼがあります。ここを両手の親指のハラを使って押します。足の裏全体もマッサージします。
④膝から下、ふくらはぎやすねの部分も、下から上へやさしくマッサージします。
⑤足の指を1本1本マッサージしていきます。
⑥つめの横、つめの下も、親指のハラを使ってやさしくマッサージします。
⑦両手で太ももを包み込むように、そして、膝下を包み込むように数回マッサージします。



お父さん、お母さんそしておばあちゃん すごいパワーで、ありがとう!! 播磨西幼稚園



1月15日の日曜日、お家の人と一緒に”とんど”で1年間の幸せを願った後、小学校の広い校庭で手作り凧揚げや”人間力ルタ”に大喜びの園児でした。 さて次はお家の人の力の見せどころ！ 日ごろなかなかできないウサギ小屋の土の総入れ替えや深い溝の泥上げと、いろいろな道具を使ってがんばってくださいました。そして最後は西幼稚園のシンボルでもある”大きなお山”。園児たちが毎日親しんで、ずいぶん削られ低くなってしまったそのお山の修復です。全保護者が力を合わせてのバケツリレーの土運びで、みるみるお山は高くなっていき、その様子に園児たちも大歓声!! 今日もう高いお山に挑戦して楽しんでい

『ちゅうごくからおきゃくさまが やって来たよ!』 蓮池幼稚園



1月17日(火)、今日は幼稚園に中国からのお客さまが来られる日です。この日を迎えるまでに、国際交流協会の郭さんに教えて頂いた中国語と新年の歌、「新年好」を練習した子どもたち。ようこそを意味する「歓迎」を皆で言いながら拍手でお出迎えしました。名前を聞いたり、歌を聞いてもらったりした後は、クラスに分かれて一緒に遊びました。最初は照れていた子どもたちも、「お兄ちゃん、羽根つきしよう!」と羽子板を渡したり、「見てー! 見てー!」と肩をたたいて得意なこまを見てもらったり、とても仲良しになった子どもたち。最後はさよならを意味する「再見」を言ってお別れしました。言葉はわからなくても心が通じ合っている、楽しく過ごした1日でした。

小さい組さんのことまかせてね!



3学期になってなかよし家族の小さい組のお世話を大きい組から頼まれたまんなか組さん。絵本を借りたり返したりするこ

とや体重測定のお世話をすることになりました。 今日、1月26日(木)は絵本を借りる日です。自分の絵本を借りると、はりきってきりん組やぞう組のなかよし家族さんのところに迎えに行きます。 「〇ちゃん、用意できた?」「絵本袋は?」などと聞きながら待っていたり絵本コーナーでは、小さい組が選んでいる横でじっと見たり一緒に選んだりして、自分たちが大きい組にしてみたらどうだったか

ホカホカの焼きいも、出来上がり!!

キューピット保育園



近年になく吹きすさぶ北風が身にこたえる中、保育園では5歳児が秋に収穫したサツマイモを全園児が集まり、園庭で焼きいもをしました。 まだ土の匂いがたくさん残っているいもを小さな手でゴシゴシ。「冷たいな」といいながら水洗いをして、丁寧にアルミホイルに巻き、秋から冬にかけて集めた落ち葉に火をつけてこんがりおいもの出来上がりをじっと待ちました。 「プンプンいい匂い」「早く食べたいな」「たきびだたきびだ」と歌い出す子どもたち。パチパチと火の粉のたき火も初めてで、火に近づけないようにと思う保育士の心と裏腹に、子どもたちは笑顔でいっぱいです。

焼けた、出来たてのいもをほおばる姿はとても可愛らしく、今後もしも色々なことを伝えていきたいと思っ

「もっこもっこで遊ぼう」で演技賞を受賞しました

工夫を凝らした仮装が見られることで人気のテレビ番組に、蓮池保育園に通う長谷河佑宜くんが出演し、演技賞を受賞しました。「もっこもっこで遊ぼう」と言って、シエツトスキー、ホバークラフト、洗濯機、最後は機関車に仮装して、元気いっぱい演技しました。お母さんの長谷河真子さんにお話を伺うと、「家族3人では初めて出場しました。主人は中学生のころからずっと出ているんです。佑宜も私のおなかの中にいるときに1回出ているんですよ」とのこと。佑宜くんは、生まれてはじめての出場でしたが、実は優勝経験もある常連家族だそうです。



欽ちゃんにもらったよ

▲前列左からお父さんの哲一さん、萩本欽一さん、お母さんの真子さんと佑宜くん、香取慎吾さん、ほかの参加者の皆さん。

子育て講演会

「幸せな人間関係を築くために」

1月24日(火)、国際コーチ連盟プロフエーションナルコーチの喜田菜穂子氏を迎え、中央公民館で子育て学習センターの子育て講演会が開かれました。私たちが取り巻く人付き合いは、ちょっとしたコツで、より思いやりを持って、より気持ちよくできるのです。お互いに尊重しあい、素敵な気持ちでお互いが輝けるようゲームを交えながら教えていただきました。

「伝えることが内容じゃなくて伝わり合ったことが内容です。自分はどう思っているのか心を込めて伝え、相手の思いをじっくり聴いてあげる聞き上手になることが、素敵な人間関係を築く大切なコツ」と講演されました。



▲となりの人と向き合っているゲーム

好天の中、播磨町ロードレース大会に723人が参加

1月29日(日)、第28回播磨町ロードレース大会が、播磨町体育協会およびNPO法人スポーツクラブ21はりまをはじめとする多くのボランティアの協力のもと開催されました。例年になく暖かい好天に恵まれ、昨年を上回る723人のランナーが西脇工業高等学校陸上部、須磨学園高等学校陸上部の招待選手やゲストラナーの奥谷選手

(SUBARU 陸上競技部所属)とともに心地よい汗をかいて疾走しました。



▲朝、中学生の部スタートはまだ寒かった

▲緊張のスタート3秒前



▲奥谷選手は笑顔でサインや記念写真に応じてくれました

ボランティアさんから記録の書かされた完走証をもらいます



▲家族一緒に出走できるファミリー部門。最後の坂が辛いそうです

買い物もゲームも大盛況、学童バザー



1月29日(日)、中央公民館大ホールで、第9回学童バザーが催されました。播磨町には現在各小学校にそれぞれ学童保育があり、放課後や学校の長期休暇の日中を指導員と楽しく過ごしています。バザーの当日、会場では家庭で不要となった日用品などのほか、子どもたちが一生懸命作ったアクセサリーやマスケットなどを販売したり、得点によって景品がもらえる輪投げなどのゲームコーナーもあり、大勢の人でにぎわいました。

中国天津市和平区政府訪問団・教育訪問団来訪

友好都市の和平区から12月13日(火)、14日(水)に11人の政府訪問団が来訪しました。また、1月16日(月)から20日(金)には小学3年生と中学1年生を含む11人の教育訪問団が来訪し、町内の人々と交流を深めました。



▲ちょっと、恥ずかしかった



▲播磨太鼓を打ってみました

教育訪問団は、蓮池幼稚園、蓮池小学校で、児童・生徒と一緒に日本の遊びなどを体験したり、播磨中学校では英語の授業を見学したりしました。また、播磨南小学校の防災訓練を見

た劉君(14歳)は「中国ではこんな訓練はない。もし地震や火事が起こったらどうしたらいいかわからなかったのですが、とてもいい勉強になった」と話しました。そのほか、野添北公園の蓬生庵で生け花やお茶を体験。夜には、国際交流協会主催の歓迎会が催され、地域のひとと楽しい時間を過ごしました。



わんぱくはりまっ子



あおい 葵ちゃん(2才) 野添 杉山

優しいお姉ちゃんになってね (パパ・ママより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)

播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

3月の放送予定 (収録場所 播磨町)

前半 3月6日(月)~3月19日(日)

- 特集 介護保険サービスが一部変更になります(加古川市)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 3月20日(月)~4月2日(日)

- 特集 地域の名人に学ぼう~播磨っ子デー
- ゆうゆうライフ(高砂市)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

月・水・金 ①午前9時15分 ②午後5時 ③午後10時

火・木 ①午前8時 ②午後2時 ③午後6時15分

土・日 ①午前8時 ②午後2時 ③午後8時

この度来訪された中国天津市和平区教育訪問団。私は訪問団と播磨南小学校と播磨南中学校へ同行。急に訪問が決まり、準備が大変だったと思うのですが、生徒司会による歓迎会ではダンスや歌を披露し、歓迎の気持ちがとてもよく表れていて楽しいひとときでした。和平区の子どもたちも初めは恥ずかしそうにいましたが、「こいハオ」と言葉を変えましたが、「こいハオ」と言葉を変えずとすぐ仲良しに。校庭ではサッカーと一緒に楽しんだり、教室では中国語クイズやゲームをしていました。子どもってすごい!!言葉の壁なんて全然感じさせず、みんな楽しんでる、自然に交流している!!と感心。改めて子ども同士の国際交流って大事だなと思いました。